

岡山空港へは札幌・東京・沖縄から定期便があります。岡山・倉敷へは路線バスがあります。
 高速バス利用の場合（URL <http://www.navitime.co.jp/highwaybus/33>）
 倉敷・岡山へは関東以西の各地から高速バスがあります。

大会事務局

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館
 「日本甲虫学会第5回大会事務局」担当：奥島雄一
 電話：086-425-6037 FAX：086-425-6038
 奥島 e-mail: musoku@city.kurashiki.okayama.jp



大野正男監修・山崎秀雄著

池田二三高・川村 満・高井幹夫写真（2014）

「昆虫博士入門」全国農村教育協会，236 頁，
 本体価格 2,750 円

ISBN: 978-4-88137-180-0 C0645

全国農村教育協会で出版されていた「たのしい自然観察シリーズ」が、「観察と発見シリーズ」としてリニューアルされて、その第一冊目として「昆虫学入門」が発刊された。著者は長年にわたって市川中学・高等学校で教鞭をとるかたわら、地域昆虫相の解明に尽力されてきた。それと共に、甲虫類とりわけゴミムシダマシ科の分類にも取り組み新種の記載発表も行っている。一方、監修者の大野正男東洋大学名誉教授は、ハムシ科甲虫類に関する分類・生態・分布等多岐にわたる研究業績が知られているが、昆虫類ばかりでなく多様な生物に関する多数の既存文献の紹介も行っている。また、自ら「自然史研究会」を発足させ代表を務めるかたわら、近年は書誌学的な面での活躍が目されている。



この著書は四章から構成され、それらの内容を章ごとに紹介すれば下記の通りである。第一章 昆虫の体の構造・昆虫の基本的な体の構造と共に、多様な環境に適応したそれぞれの昆虫の形態について紹介。第二章 昆虫のくらし・地球上で最も繁栄している生き物とされている昆虫類の、それぞれの環境に適応した暮らし振りについて紹介。第三章 いろいろな昆虫を見る・昆虫類の種の多様性を知るために、目・科・グループ別に日本に生息している代表的な種を紹介。また、トビムシとカマアシムシの仲間と共に昆虫類を系統樹で表現し、それぞれのグループの近縁関係が図示されている。第四章 昆虫博士をめざして・環境に適応して多様に繁栄した昆虫類を知るためには観察・採集、そしてそれらに基づく知見を記録することが「昆虫博士」への道であると指摘。なお、巻末には「全国の主な昆虫館・博物館」、「用語解説」および「参考書籍」が紹介されて、この分野についてより広く、より深く知りたい読者のための配慮がなされている。

以上がこの著書の内容であるが、この著書の特徴は全頁にわたり多数の鮮やかなカラー写真を用いて各章の理解を深める様に配慮されている点にある。著者が記しているようにポジフィルム約1,000点、デジタル約400点のカラー写真を通して主要な日本産昆虫類の様々な生き様の紹介は、読者の眼を楽しませるばかりでなく、昆虫類繁栄の秘密を知る上での「観察図鑑」として活用されることが期待される。

（渡辺泰明，町田市）